

第二次羽村市産業振興計画策定の策定にあたって

1. 策定の趣旨

この計画は、現行の計画を継承、発展させていくものであり、策定から5年以上が経過する中で、現下のコロナ禍の影響も含め、市の産業を取り巻く環境は大きく変化しており、こうした時代の変化に即して現状と課題を整理した上で、今後の中長期的な羽村市の各分野における産業振興施策を定めていきます。

2. 計画の位置づけ

法令等で策定が義務付けられているものではなく、市内産業の将来像を見据えて独自に策定するものです。市の上位計画である長期総合計画を踏まえた上で、今後の中長期的な市の産業振興施策の方向性を改めて位置づけるもので、市の関連計画である、都市計画マスタープランや国、東京都の構想や計画との整合を図りながら作成していきます。

3. 本懇談会の位置付け

第1回会議時にもご説明していますが、本懇談会は計画の策定にあたり、市民及び産業関係者、皆様からの意見を広くお伺いすることを目的として設置しております。他の審議会などにみられるような、市長から計画に係る諮問を受けて審議し、答申を行うといった性格の会議ではなく、この計画のユーザーになれる皆様から、広く意見をお聴きして計画に反映させることで、実効性の高い計画とすることを目的としています。

4. 計画の内容

計画には施策の展開までを体系図として示していきたいと考えており、各委員からいただいたご意見を反映して、記載内容を検討します。そして、さらに細かい事務事業のレベルの施策については、計画の他に別途実施計画などを策定することにより、進行管理をしていきたいと考えております。

5. いただいたご意見について

皆様からご意見をいただいた個別の施策・事業につきましては、具体的な内容のものも多くあり、今後計画をもとにして事務事業を考えていく上において、まさにシーズ（種）となるものだと考えております。このシーズを、十分に今後の市の産業振興に生かしていくために、施策のシーズとして提言に取りまとめます。今後、新規事業の立案やレベルアップを検討する際などに、このシーズを確認して、活用していきたいと考えております。